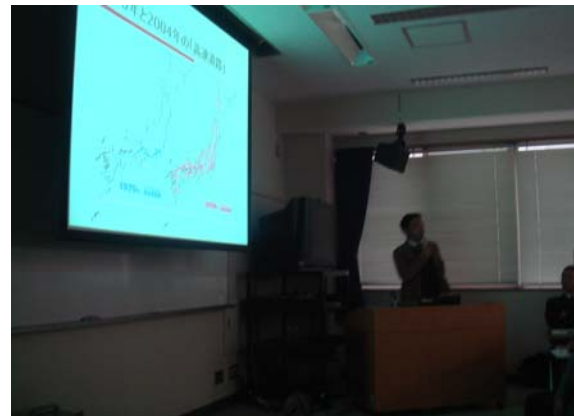


平成26年度 愛媛地区 技術開発懇談会を開催

平成26年12月1日に、愛媛大学との技術開発懇談会を開催しました。

本懇談会は、大学の「研究成果(シーズ)」と四国地整の「事業を進めるために欲しい技術(ニーズ)」をお互いに知ること、双方の研究や事業を効率よく進めるための情報交換の場となっています。

愛媛地区では、愛媛大学と、9事務所のメンバー63名がお互いの成果や、課題について報告し意見交換を行いました。



懇談会会場「愛媛大学内」

【参加機関】

- 《大 学》 愛媛大学
- 《四国地整》 松山河川国道事務所、大洲河川国道事務所
山鳥坂ダム工事事務所、四国山地砂防事務所、
吉野川ダム統管理事務所、野村ダム管理所
松山港湾・空港整備事務所、高松港湾空港技術調査事務所
四国技術事務所

大学からは、「津波レーダーの開発状況について」「社会基盤施設の教材化を通じたコミュニケーションのデザイン」「社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座」の発表があり、現在の最新技術や、教育の中で社会基盤の重要性を広報・教育する事例の紹介をし、参加者から地域住民に公共事業を知ってもらうための取り組み方法について質問が多く出されました。

四国地整からは、「自然再生事業整備計画作りへの取り組み報告」「南いよ風景かいどう」の紹介をしたところ、今後継続して活動にするための様々な意見が発言されました。

また、「愛媛県における道路メンテナンス事業の推進」「南予における道路景観の現状と課題」「大規模土砂災害対策」「宮前地区地すべり対策事業について」を報告し、技術的なアドバイスが出されました。

そして、愛媛大学を卒業し地方整備局に入局した職員から「愛媛大学卒業生からの近況報告」をしてもらい、大学での教育が職場で役立っている事例などを発表しました。

懇談会での発表により、大学・地整の取り組みを双方がよく知ることから、今後の業務・研究を進める上での参考や新しい研究のきっかけになることを期待します。